

に至りましたが、県は保護した犬の扱いにひどく手間どりました。佐賀県が犬を引き取った時点から、3週間後に私どもが現地を訪れた時まで、これらの犬の1匹とて、駆虫、ノミ対策、下痢の治療も施されず、不妊去勢手術はおろか、体を洗って身ざれいに整えることさえ、なおざりにされていました。佐賀県は、この子たちに一日も早く里親を見つけ、不妊去勢手術済みの、健康で清潔な動物として飼い主に引き渡したいと考えるはず——誰もがそう思うでしょう……いえ、実は、犬たちは暗い、じめじめしたコンクリート囲いに入れられ、「以前いた場所」よりも「ほんの少しましな状況」の中で苦しみ続けたのです。

しかし、4月に現地入りをしてみると、うれしいことに、県当局はすでに適切な処置を取っており、私どもの提案の多くを実行していました。すべての犬が治療と不妊手術を済ませ、譲渡先も決まっていたのです。(詳しくは「佐賀事件最

新情報」をご覧ください。)佐賀県としても「初体験」のはず——このようなケースを扱うのも、これほど多数の成犬に飼い主を世話するのも。行政も「やる気さえあれば」効率良く行動できることを証明する結果となったわけです。

佐賀県だけでなく、他の府県でも同様に当局の意志決定に時間がかかっています。大阪府は、和泉市の繁殖場でブルセラ症検査に陽性反応を示した犬すべてを安楽死させることに決めたものの、陰性結果の犬を直ちに別の施設に移して治療と不妊去勢手術を施そうとせず、劣悪な状態のまま放置して感染の危険にさらし、そのことが、様々な団体から「治療可能な犬を殺そうとしている」と、さらに非難を招く結果となりました。

「ひろしまドッグぱーく」の場合、行政当局は何度も現場を訪れ、改善するように警告を出していました。まる1年が過ぎ、餓死寸前の犬が沢山

いる状態の中、県は何もせずに、ただ傍観していたのです。

基本的に、行政は動物福祉の基礎知識に欠け、保健所が雇う獣医師の多くは、免許を保持しているものの、動物を実地に扱うよりは机上での書類処理に向いています。保健所の職員のうち医師免許を持たない一般公務員の方が、獣医以上に動物の扱いに慣れている場合も多いのです。英国のRSPCA(王立動物虐待防止協会)に雇われる400名の検査官は、仕事につくまでに、2年間、集中研修を受け——動物虐待に関する法律から消火器の使用法に至るまで——みっちり勉強します。毎年約2千名の志願者のうち、資格を取得し、晴れて検査官になるのは、せいぜい60名にすぎません。

新しい動物愛護管理法が行政当局に今まで以上の「大きな権限」を与えるとはいえ、この国の野放図で非情なペット業界をどれだけ効果的に抑え込めるかが今後の課題でしょう。

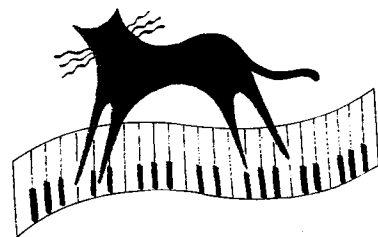
ing by others, letting the dogs remain in their awful conditions, and leaving itself open to criticism by sentimental groups claiming the prefecture was 'killing dogs which possibly could be treated.' The prefecture should have taken a positive stance and speedily implemented its decision.

In the case of the Dog park in Hiroshima, the authorities went to the place many times issuing warnings to clean up. A whole year went by with dogs dying daily of starvation while the Prefecture looked on and did nothing.

Basically authorities in Japan have no background knowledge of animal welfare, and the vets employed by the hokensho have a license but that is all, they are better suited to pushing papers around a desk than handling animals. Many of the ordinary unlicensed employees working at the hokensho are more familiar with animals than the vets. The 400 inspectors employed by the RSPCA in Britain are given two years of intensive training, including use of firearms and study of cruelty laws, before they start their work. Out of about 2000 applicants a year only 60 or less make the grade and become inspectors.

Although the new law will give the authorities 'more teeth', it remains to be seen how effective they will be in curbing the rampant and cruel pet trade in this country

フジ子・ヘミングさんがコンサート収益金をアークに寄付 Fujiko Hemming's concert in aid of ARK



世界的ピアニストのフジ子・ヘミングさんが、2007年4月26日、東京の日本武道館でコンサートを開きました。会場には1万4千人もの熱心なファンが詰めかけ、素晴らしい演奏を楽しみました。ヘミングさんは、長年、私どもと恵まれない動物に支援を続けていますが、今回のコンサート収益金をユニセフとアークに寄付されました。アークの動物と関係者一同、フジ子・ヘミング様のご厚志に感謝し、心からお礼を申し上げます。

Fujiko Hemming, the world famous pianist, who has supported ARK and homeless animals for many years, gave a wonderful and inspiring concert at the Tokyo Budokan on April 26th 2007. The hall was packed to capacity with 14,000 fans and music lovers. Ms. Hemming donated the proceeds to UNICEF and to ARK. From the animals and everyone here at ARK we would like to say how much we appreciate her generosity and a BIG THANK YOU.

チャリティーゴルフコンペ Charity Golf Contest

先日、美しい山々に囲まれた信楽カントリークラブで「チャリティーゴルフコンペ」が開催されました。今回のイベントで、アークの動物のために¥183,809 ものご寄付をいただきました。今回のゴルフコンペを通じ、アークへ寛大なご寄付を賜りました風神様、青木様御一家、そしてその他の参加者の方々へ、心より感謝を申し上げます。

With a background of mountains and forests, Shigaraki Country Club was the setting for a Charity Golf Tournament. Our many thanks to the Masuda family, to the Aoki family and to the players who so generously supported ARK. An incredible ¥183,809 was raised to help our animals.